第 3 講　【系統地理編】世界の気候帯
PART 1 熱帯

Chapter 1　熱帯の気候

目標
熱帯で，気温の年較差が小さい理由を理解しよう。
主に熱帯雨林気候区で見られる降水はどのようなものだろう。

1　熱帯とは

1. 気温

・熱帯とは，最寒月でも月平均気温が **18℃以上**となる地域。

・〔　　　　〕付近の**低緯度地域**を中心に分布する。

→年間を通じて受熱量の差が少なく，気温の**年較差**は〔　　　　　　〕。

・日中の降水により地表面から熱が奪われるため，夜間は気温が低下する。

→気温の**日較差**は，年較差と比較して〔　　　　　　〕。

2. 降水量

・熱帯雨林気候では，年間を通じて〔　　　　　　　　　　〕の影響を受けるため，**多雨**。

→〔　　　　　　　　〕と呼ばれる対流性降雨が頻発。

・サバナ気候では，**熱帯収束帯**と**亜熱帯高圧帯**の移動の影響を受け，明瞭な〔　　　　〕と〔　　　　〕の区別が表れる。

・熱帯モンスーン気候では，**季節風**の影響により，夏に降水が集中して雨季となる。冬は乾季。

3. 植生と土壌

・熱帯雨林気候：〔　　　　　　　　〕と呼ばれる**常緑広葉樹**の密林を形成。

・サバナ気候・熱帯モンスーン気候：**落葉広葉樹**（雨緑林）や**長草草原**など。

→乾季になると樹木は葉を落とし，草原は枯れる。

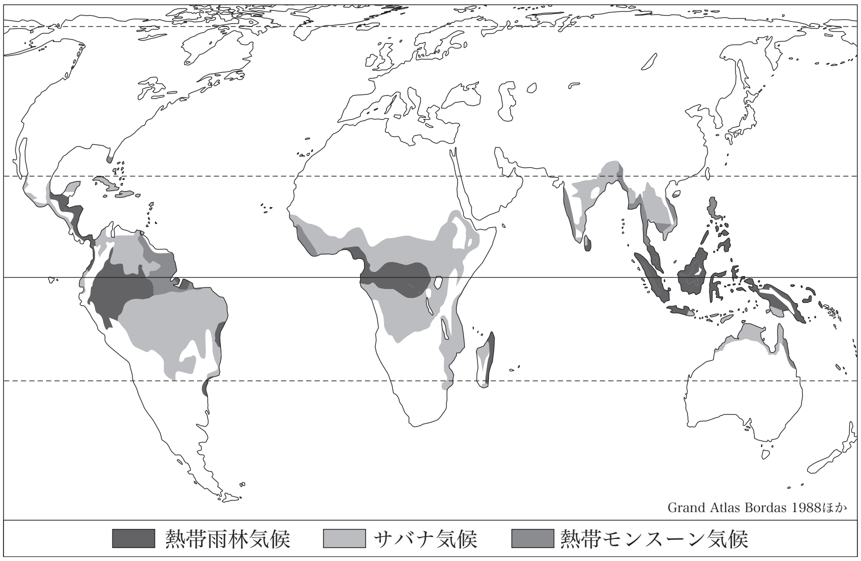
・沿岸に〔　　　　　　　　　　　　〕林，水域に**サンゴ礁**が見られる地域も。

・土壌：〔　　　　　　　　〕。赤色で酸性であり，腐植に乏しい。

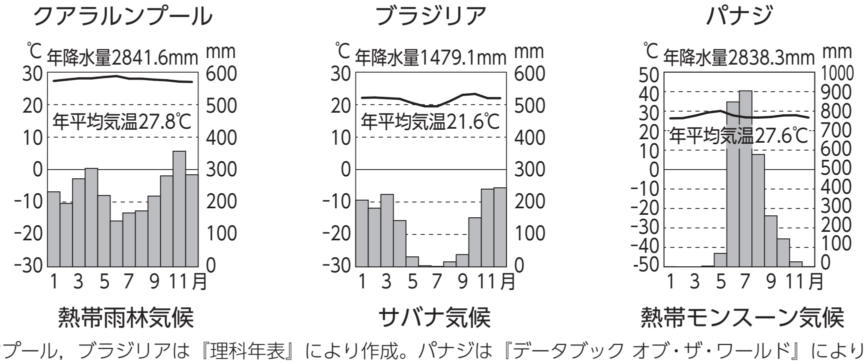
→降雨によって土壌の腐植部は流されてしまう。**酸化アルミニウム**や酸化鉄のみが残り，**赤色**となる。

2 熱帯の気候区

気候区	特徴	分布
〔　　　　　　　　〕 **気候**（Af）	年間を通じて高温多雨。	**赤道**周辺。 東南アジア島嶼部，コンゴ盆地など。
〔　　　　　　〕**気候** (Aw)	年間を通じて高温。明瞭な**雨季**と**乾季**が見られる。	熱帯雨林気候の**高緯度側**。 東南アジア大陸部，ギニア湾岸，ブラジル高原，オーストラリア北部など。
熱帯モンスーン気候 (Am)	年間を通じて高温。**季節風**の影響を受け，夏に特に多雨となる。	熱帯雨林気候の**高緯度側**。 インド半島西岸，インドシナ半島西岸など。



熱帯の分布



（クアラルンプール，ブラジリアは『理科年表』により作成。パナジは『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成）

まとめ
低緯度地域は年間を通じて受熱量の変化が小さく，気温の年較差が小さい。
スコールと呼ばれる対流性降雨が発生する。

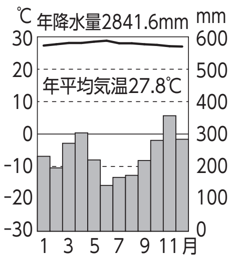
Chapter 2　熱帯に暮らす人々の生活

目標
サバナ気候区で，雨季と乾季が生じるしくみを理解しよう。
インド半島西岸で，夏に特に雨が多くなるのはなぜだろう。

1　マレーシアの暮らし（熱帯雨林気候）

1. 熱帯雨林気候の特徴

・年間を通じて熱帯収束帯の影響を受け，**高温多雨**。
・［　　　　　　　　　］の頻発。
　→午前中に地表面が強い日差しにより温められ，**上昇気流**が発生，
　　午後に集中豪雨となる。
・［　　　　　　　　　］(常緑広葉樹の密林) が広がる。

クアラルンプール


(『理科年表』により作成)

2. マレーシアでの人々の暮らし

・伝統的住居：木や竹などを使った［　　　　　　　　　　　］。
　→地面からの熱や湿気を防ぐことができ，風通しの良いつくり。
・農業：かつては，［　　　　　　　　　］。草木灰を肥料としてキャッサバなどを栽培。
　　　近年は，**プランテーション**での**天然ゴム**や［　　　　　　］の栽培を行う。
　→農地開墾のため，熱帯雨林や**マングローブ**の伐採が進んでおり，環境への影響が大きい。

高床式住居

油やしのプランテーション

2 ブラジル高原の暮らし（サバナ気候）

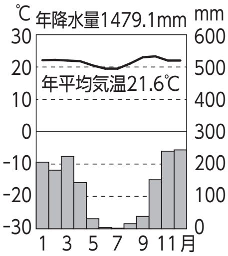
1. サバナ気候の特徴

・夏は熱帯収束帯の影響下にあり**雨季**，冬は亜熱帯高圧帯の影響下にあり**乾季**となる。

・植生：〔　　　　　　　　　〕（**サバナ**）や，落葉広葉樹林。

→長草草原は，オリノコ川周辺において**リャノ**，ブラジル高原において〔　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる。

ブラジリア



（『理科年表』により作成）

2. ブラジル高原での人々の暮らし

・ブラジル高原北部：かつて不毛とされていた土地が開発によって拓かれる。

→雨季の降水を活かした**大豆**や〔　　　　　　　　　　　　〕の大規模な栽培など。

・ブラジル高原南部：**玄武岩**が風化して生成された間帯土壌の**テラローシャ**が分布。

→**コーヒー豆**の栽培が盛んである。

カンポセラード

コーヒー豆の栽培

3 インド半島西岸の暮らし（熱帯モンスーン気候）

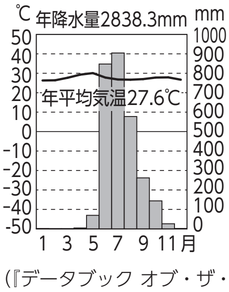
・インド半島西岸は，典型的な**熱帯モンスーン気候**が見られる地域。

・〔　　　　　　〕の影響で，降水が６～９月に集中。

→夏にはインド洋から湿った南西の季節風が吹き込み，山脈や丘陵を越える際に大量の降雨をもたらす（**地形性降雨**）。

・季節風による降水を活かし，インド半島西岸では**稲作**が盛ん。

パナジ



（『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成）

まとめ

夏には熱帯収束帯，冬には亜熱帯高圧帯に含まれるため。

夏には海からの湿った季節風が吹き込み，地形性降雨が生じる。

第 3 講　PART 1　確認問題

1 最寒月平均気温が 18℃以上の気候を何というか。

① 熱帯　② 乾燥帯
③ 温帯　④ 亜寒帯

2 低緯度地域の気温について述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 気温の年較差，日較差とも大きい。
② 気温の年較差は大きく，気温の日較差は小さい。
③ 気温の年較差，日較差とも小さい。
④ 気温の年較差は小さく，気温の日較差は大きい。

3 熱帯に分布する土壌はどれか。

① 森林褐色土　② チェルノーゼム
③ ラトソル　④ ポドゾル

4 熱帯雨林気候で降る集中豪雨について述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 太陽光によって熱された地表上の空気が膨張し，上昇気流が発生する。
② 温かい空気と冷たい空気がぶつかってできる前線の影響で，上昇気流が発生する。
③ 高気圧と高気圧の谷に風が吹き込み，上昇気流が発生する。
④ 湿潤な大気が山脈にぶつかって，上昇気流が発生する。

5 熱帯雨林気候が年間を通じて高温多雨である要因として，正しいものはどれか。

① 年間を通じて亜熱帯高圧帯の影響を受けるため。
② 年間を通じて熱帯収束帯の影響を受けるため。
③ 年間を通じて偏西風の影響を受けるため。
④ 年間を通じて貿易風の影響を受けるため。

6 サバナ気候に影響を与える，２つの気圧帯の組み合わせとして正しいものはどれか。

① 熱帯収束帯と亜熱帯高圧帯
② 熱帯収束帯と亜寒帯低圧帯
③ 亜熱帯高圧帯と極高圧帯
④ 亜寒帯高圧帯と極高圧帯

7 ブラジル高原南部の農業について述べた以下の文のうち，正しいものはどれか。

① 間帯土壌テラローシャを活かした，コーヒー豆の栽培が盛ん。
② 熱帯の気候を活かした，天然ゴムのプランテーション農業が盛ん。
③ 季節風による降水を活かした，稲作が盛ん。
④ 土壌がやせており，焼畑農業が主流である。

8 インドにおける稲作について，正しいものはどれか。

① 地形性降雨による降水が６～９月に集中するインド半島西岸で盛んである。
② 地形性降雨による降水が６～９月に集中するデカン高原で盛んである。
③ 対流性降雨による降水が６～９月に集中するインド半島西岸で盛んである。
④ 対流性降雨による降水が６～９月に集中するデカン高原で盛んである。

第 3 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：①

熱帯は最寒月平均気温が 18℃以上の気候帯をいう。

2 解答：④

低緯度地域は年間を通じて太陽高度が高いため，季節による受熱量の差が小さくなり，**気温の年較差**は**小さく**なる。日中の降水により地表面から熱が奪われて夜間は気温が低下することから，**気温の日較差**は年較差に比較して**大きく**なる。

3 解答：③

熱帯に分布する土壌は**ラトソル**である。ラトソルの表層付近には酸化鉄や酸化アルミニウムが集積し，**赤色を呈する**。

4 解答：①

熱帯雨林気候で降る集中豪雨を**スコール**という。スコールは，太陽光によって熱された地表上の空気が膨張し，上昇気流が発生することで起こる**対流性降雨**。

5 解答：②

熱帯雨林気候区は赤道一帯に分布し，年間を通じて上昇気流が卓越する**熱帯収束帯**の影響を受けることから乾季は見られない。

6 解答：①

サバナ気候は，夏は**熱帯収束帯**，冬は**亜熱帯高圧帯**の影響下に入るため，雨季と乾季が明瞭な気候となる。

7 解答：①

間帯土壌は岩石の影響を強く受けて生成される土壌をいう。ブラジル高原南部に分布する間帯土壌は**テラローシャ**である。テラローシャはコーヒー豆の栽培に適し, ブラジル高原南部はコーヒー豆の世界的産地となっている。

8 解答：①

インド半島西岸に夏にはインド洋から湿った南西の季節風が吹き込み，**地形性降雨**がもたらされる。同地では，この降水を活かした**稲作**が盛ん。